

日本福祉大学健康科学研究所 2024年度公開シンポジウム

木材利用と木造・木質建築の推進による森と都市の連関

シンポジウムの概要：国内における森林ストックを考えると、国産材の需要創出及び循環型林業の重要性が増している。また内装木質化や建築物の木造化の推進が実現することで、森と都市の連関が生まれ、持続可能な社会の構築に繋がる。本シンポジウムでは、林野庁や愛知県の進める建築物の内装木質化及び木造化などの具体的な事例をもとに、日本における木造・木質建築を活用したまちづくりについて議論する。

2024年11月19日（火）14時開始（16時30分終了予定）
STATION Ai 3階 大会議室（名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号）
80名定員（申込制・最終締切は11/10ですが先着順で定員に達し次第締切）

参加無料

申込QRコード

開会挨拶・シンポジウム趣旨説明

林野庁 / 愛知県



松井氏

- 日本福祉大学 福田 秀志 氏
(健康科学研究所 所長/教授)



福田氏

話題提供

- 森とまちを繋ぐ実践的な取り組み
株式会社もりまち
加藤 亮 氏



加藤氏

- 様々な施設における内装木質化とその効果
(林野庁補助事業報告)

日本福祉大学 健康科学部 福祉工学科
建築バリアフリー専修 准教授 坂口 大史 氏



坂口氏

パネルディスカッション

コメンテータ：福島 和彦 氏

(名古屋大学大学院 生命農学研究科/教授、
名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 副本部長)



福島氏

井戸田 秀樹 氏

(日本福祉大学 健康科学研究所 教授)



井戸田氏

モデレータ：福田 秀志 氏 パネリスト：加藤 亮 氏、松井 直之 氏、坂口 大史 氏